

情 報 公 開 文 書

研究の名称	もやもや病の臨床像・放射線学的所見・生体試料の研究
整理番号	R 2 0 1 9 0 5 7
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学附属病院
研究責任者	脳神経外科 教授 黒田 敏
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学附属病院脳神経外科にて、2012年1月1日以降にMRIや脳血管撮影でもやもや病と診断された患者さん。</p> <p>【研究の目的・意義】 もやもや病は内頸動脈等の脳血管が狭窄・閉塞をきたし、脳梗塞の原因となる疾患です。また、脳虚血を代償するために拡張した穿通枝が破綻し、脳出血をきたすこともあります。近年の研究では、脳血管撮影や脳血流SPECT等の画像検査所見における脳梗塞や脳出血の危険因子が明らかとなりつつあります。しかし、もやもや病の病因自体は未だ不明で、その予後や転機に影響する因子もまだ完全には解明されていません。本研究は、もやもや病の病因を解明すること、もやもや病患者さんの予後に影響する因子を解明することを目的にした研究です。</p> <p>【研究の方法】 本研究では、研究対象の患者さんの患者情報（診療録、CT、MRI、脳血管撮影、脳血流SPECT、血液検査結果、脳波）と、日常診療で採取した血液検体、手術時に採取したくも膜・尿・脳脊髄液検体（2012年1月1日以降に脳血行再建術を受けた患者さんのみ）を用いて研究を行います。患者情報はデータを統計解析するために用い、血液・尿・脳脊髄液検体は特殊なバイオマーカーを測定するために用います。くも膜検体は免疫染色を行い、もやもや病の病態解明のために使用します。</p> <p>【研究期間】 2019年8月30日から2030年12月31日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 国内外の脳神経外科・脳卒中関連の学会にて発表します。 また、脳神経外科・脳卒中関連の英文雑誌へ発表を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>研究は、当施設において日常診療の中で採取した血液検体や、脳血行再建術を実施した際に採取したくも膜検体・尿検体・脳脊髄液検体を用います。血液・尿・脳脊髄液検体は冷凍保存した上でバイオマーカーの測定に用い、くも膜検体はホルマリン固定の後に免疫染色を行います。</p> <p>本研究で得られた情報や試料は他機関への提供は行いません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究に用いる試料および情報は当施設のみで利用します。他機関や国外と共有することはありません。
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学大学院医学薬学研究部 脳神経外科学 教授 黒田 敏

研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7348 FAX 076-434-5034 E-mail shusuke@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 脳神経外科 診療助手 山本修輔
---------------------------------	---